

# Rehast ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第146号

## ななえ古写真物語 VOL. 146

### 切望した局舎

大中山郵便局のはじまり

昭和30年代か？

大中山地区



お馴染みの「〒」マークが見当たらないので、一見すると単なる民家のようなのだが、簡易保険や定額貯金の看板、そして何より郵便ポストが設置されているおかげで、かろうじて住宅ではないと想像することができる上の写真は、初代の大中山郵便局の姿である。

判読しにくいですが、玄関上部には「大中山郵便局」の看板をかがけており、丸い外灯が取り付けられている。その屋根には、洋風な棟飾りが施され、屋根全体はトタン葺き、窓には防犯のためなのか鉄格子がはめられている。近代和風建築とでも呼ぶのだろうか、いずれにせよ近年あまり見なくなってきたレトロな雰囲気のある建築様式である。

昭和23年に、現在の農協大中山支店のあたりに建てられたといわれ、昭和46年には建物の老朽化によって現在の位置に新たな局舎を建築、ほぼ同じ場所でさらに建て替えが行われているので、現在の大中山郵便局は、3代目の局舎と考えられる。

建物の規模から考えると、簡易郵便局ほどであるが、それでも当時の大中山村にとっては、念願の開局だったことが、昭和25年に発行された『大中山村誌』などに記されている。

明治後半期から徐々に発展してきた大中山村は昭和20年になると戸数437戸、人口3,000人を越えるほどになった。そんな時勢に村民から郵便局設置の要望が高まったため、杉村大造、富原富雄、富原忠太郎らが率先して、札幌逓信局へ陳情を重ねていたものの、戦時中だったため、認可が見送られていた。終戦後の昭和22年秋ようやく無集配郵便局設置の認可が下りたため、村に局舎設置委員会を設け、建設費の寄付募集を行い工事が進められた。予算不足など諸々の問題もあったのだが、建設委員の一人で工事を請け負った寺田辰三郎の奉仕的な工事によって、昭和23年12月18日に竣工落成したと記されている。

同じ頃、大中山小学校の増築工事落成や大中山臨時停車場が停車場へ昇格するなど、めでたい話題が重なったため、これらを合わせた祝賀会が大中山小学校で盛大に行われたという。

初代局長には福岡満雄（元樺太南珍内局長）が就任し12月26日から正式に開局した。ちなみに、昭和24年度の貯金受取額は319万7千円、支払額は203万4千円、切手売上が3万4千円だったと記録されているが、この額が多いか少ないのかはわからない。

### 15日

「龍馬は最後の武士（ものふ）」と、坂本龍馬と北海道の関わりを語ってくれたのは、北海道坂本龍馬記念館館長の三輪氏。この日の夜の博物館第二夜の講師としてお招きし、龍馬の活躍した幕末という時代と北海道をキーワードに、関わった人物などを紹介して頂き、人と人の繋がりから知る、新たな北海道の魅力を再発見する機会となりました。幼いころに偉人伝を読み、こうありたいという憧れから、モチベーションをもつ大切さを学んだというお話は、いまを生きる子どもたちにも是非体験して欲しいことのひとつです。



### 25日

1月のジュニア探検クラブでは、「昼飯を作ろう!」と題し、豚汁づくりを行いました。地域によって「ぶたじる」や「トンじる」と呼び方が違うことを学んだ後、具材のニンジンや大根、豚肉を切ります。少し危なっかしい手つきに冷や冷やしましたが、それらをいため、だし汁を加え、味噌で味を調え煮ます。ついでに米を研いで文化鍋での炊飯にも挑戦、ふりかける鰹節も削りました。丁寧に料理する。ありふれた具材でもそれだけでおいしくなることを感じてくれたらと思います。



## どんぐりの標本

御存知の方も多くいらっしゃるかと思いますが、歴史館では、自然資料も多くあります。剥製はもちろん、フィールドで採集することもあります。今回はそんなどんぐりの標本のご紹介です。北海道では、採集できるどんぐりの種類が少なく、これらのどんぐりは、本州に足を運んだときに採集したものや、関東に暮らす知人に声を掛け、送ってもらったものなどです。学習室にありますので、形や大きさ、色などの違いを手にとってご覧下さい。



1	日	企画展「生業と手しごと」OPEN
2	月	
3	火	
4	水	夜の博物館
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	企画展最終日 ↓
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	春分の日
21	土	ジュニア探検クラブ
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

3月の休館日はありません。

### たくちゃん

たくちゃんは旧拓銀のPR用品。昭和38年から製作され全47種。お持ちの方いませんか？



### 編集後記 ~tawagoto~

立春が過ぎた。暦の上では春ということである。極めて少ない積雪に気を揉んでいたのだが、やはりというべきか、かなりまとまった雪が降った。季節も帳尻を合わせたいのかもしれない。音もなく次々と地面へ向かう雪が、暫くむき出しになっていた路面を白くする。今になって冬らしい姿になったのだが、それでも今年は雪が少ないように思う。そして、春の雪は思っていた以上に重く、雪かきをもつ私たちを苦しめる。(やまだひさし)

# Richard

~ピチャリ~

第146号

令和2年2月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp